

学校だより

Vol. **98**
2015.4

Contents

- | | | | |
|----|---------------|----|---------------|
| 02 | 専攻科修了・卒業式告辞 | 21 | 全国高专デザコン・ブレコン |
| 04 | 祝 卒業・修了 | 22 | クラブ活動等の結果 |
| 17 | 卒業生・修了生の進路 | 24 | TOPICS |
| 18 | 学生会 | 26 | 退職者挨拶 |
| 19 | 磐陽祭 | 27 | 専攻科の改組 |
| 20 | 全国高专ロボコン・プロコン | | |



福島工業高等専門学校

第10回専攻科修了証書授与式・ 第49回卒業証書授与式



第10回専攻科修了証書授与式・ 第49回卒業証書授与式 告辞

福島工業高等専門学校 校長 中村 隆行



修了生・卒業生諸君、修了・卒業おめでとうございます。

本日、ここに、多数のご来賓と、修了生・卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、第10回専攻科修了証書授与式並びに第49回卒業証書授与式を実施出来ますことは、教職員一同、誠に慶びとするところ

であります。ご多用の中、御出席いただきました、御来賓の皆様、並びに保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日、本校を巣立つのは、専攻科の、機械・電気システム工学専攻12名、物質・環境システム工学専攻11名、ビジネスコミュニケーション学専攻7名の専攻科修了生計30名、その内、復興人材育成特別コース修了者14名、並びに、本科生として、機械工学科39名、電気工学科46名、物質工学科46名、建設環境工学科38名、コミュニケーション情報学科42名の計211名です。

修了生・卒業生の諸君、諸君が本日ここに晴れて卒業式を迎えることができるのは、これまで、日々、勉学に励み、精進を重ねてきた結果です。諸君のこれまでの努力に敬意とお祝いの気持ちを表したいと思います。また、本日、諸君が晴れてこの卒業の日を迎えることが出来るのは、ご家族の愛情と援助、教職員の熱心な指導のお陰であります。諸君を育ててくれたすべての方に、感謝の

気持ちを持っていただきたいと思います。

修了生・卒業生の保護者・御家族の皆様には、本日、御卒業のお子様を、このように立派に育て上げられたことに、敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、私は、昨年の四月に本校の校長に就任し、校長の方針を明快な言葉に表す必要があると考え、「いわきから世界に活躍するイノベーション人材を育てる」を、スローガンにしました。そこには、福島高専の学生諸君に対する、私の三つの願いが込められています。修了生・卒業生諸君が、福島高専を巣立った後も、このことを心に留めて置いてほしいと思います。

一つ目は、「世界に活躍する」ということです。グローバル化が進んで世界が小さくなり、様々なことが日本だけでは完結しない時代になってきています。これから日本を背負う若者は、世界の人たちと情報交換をし、あるいは様々な国際的な場で、しっかりと意見を伝えることが出来るなど、「世界に活躍する」という観点が、ますます要請されてくると思います。卒業後も、英語の学習を怠ることなく、自ら世界の様々な情報を取ると同時に、世界に対して情報発信するなど、世界を視野に入れて、自らの向上・発展に努めてほしいと思います。

二つ目は、「イノベーション人材」です。産業構造が変わり、情報化が進む中で、資源のない日本は、付加価値を高める産業を興していかなければなりません。そのためには、既存の情報を活用し、創意工夫が出来る人材となる必要があります。修了生・卒業生諸君は、そういったアイデアを生み出すことの出来る「イノベーション人材」となることを、卒業後も目指してほしいと思います。

最後の三つ目は、「いわきから」という視点です。これは、「福島から」と言い直すことも出来ると思います。東日本大震災から、四年が経過しました。しかしながら、



福島は、福島第一原子力発電所の事故の影響があり、震災復興はまだその途上にあります。昨年、六月に取りまとめられた、福島・国際研究産業都市構想、いわゆる「イノベーション・コースト」構想は、そういった福島浜通りのマイナスの状況をプラスに変え、世界が注目する福島浜通りの再生を目指すものです。

その中では、「廃炉へのチャレンジ」として、福島第一原子力発電所の廃炉を加速するための国際的な廃炉研究拠点の整備や、ロボットについての研究・実証拠点の整備が、また、「新しい産業基盤の構築」として、国際産学連携拠点の整備、スマート・エコパークの整備、エネルギー関連産業の集積、農林水産業における新産業創出などが、その主要プロジェクトとして挙がっています。

修了生・卒業生の中には、今後、この「イノベーション・コースト」構想の具体化に、直接かかわる諸君もいると思います。また、福島から離れる諸君も多いと思いますが、原子力発電所の廃炉には、今後、数十年かかるとされており、修了生・卒業生の母校となる福島高専

は、この課題に今後とも取り組み続け、地域の復興に貢献しているということを忘れないでいただきたいと思います。

本日までに、修了生・卒業生諸君が、本校で身につけた十分な基礎力と、それに基づく創造性と実践性、そして、寮やクラブ活動などで培った人間力は、これからの福島や日本を考え、諸君の夢を実現するために十分なものと信じています。さらに、継続的な努力と目標を成し遂げようとする意志が加われば、これからの人生において、諸君が直面する様々な困難に打ち勝ち、また、様々な試練も克服出来るはずです。

自らに自信を持って、健康に留意し、自らの夢を実現してほしいと思います。諸君の力で、すばらしい人類の未来、日本の未来、地域の未来を築いて下さい。

最後に、諸君のこれからの人生が、幸多いものであることを祈念して告辞と致します。



機械工学科



最初で最後の担任

機械工学科 5年担任 木下 博嗣

卒業おめでとうございます。3年生の始業式の日、「私にとって最初で最後の担任です。思い出に残る楽しいクラスにしましょう。」と、言ったのを覚えているでしょうか。その後、特に大きな問題も無く、日々皆さんの成長する姿に驚きました。それに連れて私自身もこの年で有りながら成長させられたと感じました。振り返るといろいろなことがありましたが、あっという間の3年間でした。良い思い出になりました。

将来社会人として働く皆さんに、7年間民間会社で働いてきた先輩としてアドバイスをしたいと思います。まず、張り切りすぎないこと。仕事はやればやるほど増えてきます。多くの仕事を抱え込むと必ずミスをします。むりをせず能力の80%程度の力で長続きさせましょう。頼まれた仕事は

間違いなく遂行し、相手は何を望んでいるかを考えて、プラスアルファの気働きを加えましょう。また、同じように仕事をして、他の人は評価されるのに、自分は一所懸命仕事をしているのに評価されないと感じる場合があります。焦らずに地道にやりましょう。必ず誰かが見ていて、将来評価してくれる時が来ます。最後に、3年間は耐えましょう。入社1年目はお客さん。2年目になると自主的な仕事が増えてきます。3年目になると責任を持たされる仕事になります。この時点で会社を辞める人が多くなります。ここを頑張って乗り切ると、4年目には部下も出来て仕事が楽しくなるでしょう。何年後かにクラス会があれば呼んで下さい。元気であれば参加します。

5年間ありがとう ございました。皆様 には感謝の気持ち でいっぱいです。 みなでふうさん寮に 行きます。吉永啓太	課題とかテスト前とか 色々お世話になりました。 自分一人だけの力 で、1年留年してたかも しれません。5年間ありが とございました。鈴木 涼介	レポートとかからん時 試験キツイ時 前夜祭頑張った時 一緒にいてくれた ありがとう。関根健哉	テスト、レポート、課題 などみんなにはめっちゃ お世話してもらいました。 1人ではこなさず、 こしあつたと思います。 ほんとに感謝してます。 ありがとございました。 南部匠太
長いようで短いよ うな5年間だった と思います。なか か又も水泳が上手 に楽しかったこと がありがと！ 高杉翔	5年間という長い期 間でした。あつというま に過ぎてしまいました。 5年間のクラスで楽し かったです。 ありがと！ 小林 夢	5年間楽しい学校 生活とあつきました。 卒業しても友情が 続くよう仲間であ つたいです。松崎本夢	入学式が昨日の このように... というのは嘘に なりますが、あつという 間の5年間でした！ ありがと。河野佑美
再試合の5年間 で、バレー、ソフトバ レー、バレー、バレー でいい思い出です。 ありがとございました!! 小泉翔太郎 Kojima	楽しい時間は あつという間に過 ぎてしまいます。 5年間苦楽を共に した仲間通う ありがと。川田雄大	毎年10月4、5、6日は奥 州二本松にて、二本松高 うしろ寮りが行われます。 熱い闘争のお祭り。でも 1度は訪れてください。 ワッショイ!! ワッショイ!! 水戸	あつという5年間でした。 なかたけで楽しかったです。 バレー、ソフトバレー、 バレーが5年かかって あつた思い出です。 ありがとございました。 安島優成
みんなのおかげで 球技大会も前夜祭も すごく楽しかったです。 5年間、このクラスで よかった!! ありがと! 坂本 祥	内容の濃い5年間でした。 このクラスと部活の仲間、 学校で出会った人達との つながりも大切にしてい たいです。5年間、ありが とございました。 青木勇斗	今までありがとござ いました。 国分武	長いようで短く感じた 5年間でした。みんなの 学校生活はとても 楽しかったです! ありがとございました! 門井 幸太
5年間素晴らしい 仲間達と最高の学校 生活を送ることが できました。 本当にありがとございま した。島 朋也	入学の頃から卒業 にかけてクラスの皆の 対応の変化に驚か されました。いろいろあ つた思い出です。 ありがとございました。 中島 未来也	みんなのおかげで、5年 間で卒業することができ ました。とても感謝して います。テストでの 最低点は3点でした! 国分武 5年5学期M4 新岩憲	5年間充実してあつた。 もう一度レポートは やりたくありません。 楽しかったです。 猪狩 漢太
5年間楽しかった です。 まじ話にのぼりました。 佐藤 建	5年間ほんとに 楽しかったです! ありがとございました! 佐藤 佑樹	5年間楽しい思い出 をありがとうござい ました。卒業後も かんばろう! 鈴木 臣明	あつという間の5年間 をとても楽しく過 ごすことができてあ つた。今までありが とございました。 さつこからめめめ! 廣崎 大基
みんな、5年間ありが と！吹奏楽もずっと続け られ、楽しい学校生活 が、機会があったら 手いしめよう。清越 光莉	5年間ありがとう! 楽しい思い出が たくさんできました。 平木 義久	留年してクラスに馴染 められなかった。5年 間で卒業することができ ました。とても感謝して います。テストでの 最低点は3点でした! 国分武 5年5学期M4 新岩憲	楽しい時間とあつた。 なかたけで楽しかった。 バレー、ソフトバレー、 バレーが5年かかって あつた思い出です。 ありがとございました! 天々
5年間とても楽しい 学校生活でした。 卒業にあつた こと、ありがとうございました。 三浦 和輝	みんなと友達にな り、5年間楽しかった。 卒業後も、時々集 まりたいと思います。 ありがとございました。 松本 武尊	友人に恵まれて、毎日 楽しく過ごすことがあ つた。出会ったみんなに 感謝しています。またあ つたいです! 宮原 遼太郎	楽しい事や辛い事、色々 あつた。あつという間 の5年間でした。 卒業してもまた会いま しょう。ありがとござい ました。 山下 賢也

電気工学科



担任としての思い出

電気工学科 5年担任 小泉 康一

卒業した5年生の学生諸君、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様も、お子様のご卒業おめでとうございます。

私が担任を任された3年前、様々な理由が重なりクラスは52人という大人数でのスタートとなりました。多くの学生はスポーツを好み、特別活動の時間をスポーツ時間として活用してくれたのはよいと思っていました。校内体育大会においては、開催されなかった2年次以外のすべての年度で学年優勝という素晴らしい成績を残すことができました。クラス内の雰囲気も良く、私自身も教室へ行くのがとても楽しみで毎日充実した生活を送れました。5年次は卒業研究を筆頭に教育指導が増えましたが、こちらもクラスの良い雰囲気に合わせて楽しくやることができました。最後に、ます

ます成長した皆さんを見てみると、感慨深いものを感じました。

他にも、勉学の息抜きとして工場見学や旅行などの様々な行事がありました。学生の希望通りにはいかないことも多かったですが、私もこれらの行事と一緒に参加できまして、とても楽しむことができました。

最後にアドバイスをしたいと思います。就職、進学に関わらず、高専生活の経験は必ず生かされる場面があります。挨拶は人のためにするものではありません。毎日の掃除や当番などは重要です。困ったときは人に相談して、悩みをためないことです。

新天地で落ち着きましたらぜひ連絡をいただけますとうれしいです。

5年間 ありがとう ございました。 相見	お世話にな りました。 青木	好きなことして 生きていく ④ 荒川	面白いばかりで 楽しかったです。 あと2年が楽しみです。 猪狩聖人	5年間ありがとうございました。 就職してからもがんば りたいと思います。 伊藤
たくさんの アドバイス ありがとう! 猪野	皆さんのみなさんのおかげで した 名木 雄太郎	みんな ありがとう 印木	めちゃ楽しく5年間 過ごすことができました!! あと2年あるけど、 頑張りたいです。 電気科最高!! 遠藤 優貴	6年間の学校生活は人に 恵まれて本当に楽しく過 せました。ありがとうございました。 また、ごはな!! 大越 康晴
毎 木 大 竹 し か た	皆さんと過ごした5年間は、 思いもよらなかった。けれど、 なにより楽しいものでした。 またいつかお会いしましょう。 ヤア。大塚 尚志	5年間電気科で過ごし 他では得られない多くの 経験とすることができた。 先生友達に感謝! ありがとうございました。 大塚 尚志	大変だったけど 最高に楽しかった!! みんなに充実した6年間を 送れたのは、沢山の出 会いがあったからです。 ありがとう。岡田 敦	5年間 ありがとう ございました。 また会いましょう!! 片岡 半月太
5年間、とても楽し く学校生活を送れた ことに感謝します。 ありがとう。今後の 生活も元氣張って いきます。金丸 允駿	5年間 お疲れ様でした 川崎 裕幸	みなさん5年間 ありがとう。 お元気で。 菊地 裕大	5年間、とても楽し く充実した学校生活が 送れました。いつか また遊びに来たいな と思います。 箕野 陽子	5年間の人も6年間の 人も(おと7月)あつた れまででした。お元気で! 能田 誠也
みんなと出会うことができて 本当に良かったと思います。 これから頑張りたいです。 ありがとうございました! 小林 尚輝	5年間、楽しく 充実した 学校生活でし ました。 ありがとう!! 鈴木 寛仁	電気科に入って よかったです。 楽しい時間を ありがとうございました。 境 拓哉	たくさんの人と出会い、 いろんな時間を過ごし、 最高の思い出がで きました。大学でも頑張 ります。佐藤 伸耶	6年間いろいろ あったけど、楽 しかったです。 菅野 貞矢
5年間とても楽し く充実していました。 それぞれ今後の人生 で楽しんでいきましょう。 鈴木 寛仁	楽しく充実した 学校生活でし ました。 ありがとう!! 鈴木 寛仁	5年間とても楽し く充実した学校生活が 送れました。いつか また遊びに来たいな と思います。 箕野 陽子	レポートに追われなが ら過ごした5年間でした。 とても楽しかったです。 みなさんこれからは がんばってください!! 新橋 優希	人数が2倍増か せりのなかで楽しい です。 谷 登
みんなに会えて うれしかった。 さびしいです。 土屋 裕紀	最高の仲間と最高 の時間を過ごせ ました。 徳永 昇吾	たくさんの仲間と 仲良くできて よかったです。 中丸 智寛	5年間楽しく過 せました。 みんなもお疲れ様で した。 半澤 翔太	5年間楽しかった!! 先生や友達にいろいろ 助けてもらいました。 ありがとうございました。 比嘉 知也
みんなに助けてもらえた から今までこれでした! 気が置けないところ いうことなんがと 思います。5年間ありがとう。 久野 裕哉	とても楽しい6年間 でした。一年が 大変なとき。 これからはみんな がんばろう!! 熊山 俊哉	5年間 楽しかったです!! みんなありがとう!! 松本 祐太	5年間 楽しかったです! 間野 目大	非常に充実した 5年間でした。 みなさんお世話 になりました。ありがとう 岡田 敦
5年間なんとか生 きてこれです。 武藤 和輝	適当な僕を愛して くれて、みんなあり かとうございました。 柳田 裕也	5年間とても 楽しかったです!! みんなありがとう!! またどこかで ハ島 弘耀	5年間 お世話にな りました。 これから、頑張りたいと 思っています。 矢部 輝祐	5年間、楽しい 時間を過ごすことが できました。 ありがとう 横山 侑一郎
皆さん大変 お世話になりました。 またどこかで 横山 雄太	5年間ありがとう ございました。 あつかれさまでした。 渡辺 泰治	2年間という短い間に たけれどもとても楽し く充実した学校生活 でした。社会人がな ります。細鍋 健太		

物質工学科



物質工学科卒業生の皆さんへ

物質工学科 5年担任 梅澤 洋史

卒業おめでとうございます。私が皆さんの担任となり、もうすぐ3年が経とうとしています。3年前の3月、いろいろな先生から皆さんの（主に良くない）話を聞いていたので、これは大変なクラスの担任になるんだなぁと思っていましたが、実際には素直で優しい学生がほとんどで、今考えてみると本当に苦労した、ということとはほとんどなく、充実したあっという間の3年間でした。

これから皆さんはそれぞれ別の道を歩む事になります。大学に編入する人、就職する人はこれまでの環境が大きく変わります。その中で自分がどのように行動することができるかで今後の人生が大きく変わってきます。特に最初が肝心です。スタートダッシュでうまく波にのることができれば

きつとうまくいくはずです。専攻科に進学する人は環境の変化は小さいかもしれませんが、より自立した生活が求められるようになります。何か一つでいいので自分の将来役に立つと思われるものを見つけて一生懸命自分を磨いてください。

皆さんはまだこれから続く長い人生の半分も生きていません。今努力したことはそのまま将来の自分に跳ね返ってきます。決して無駄な努力はありません。努力することをいとわずに行動してください。そして、何か困ったことがあったらいつでも福島高専を訪ねてください。本校教職員が問題解決のヒントをくれるかもしれません。皆さんの成長した姿に出会えることを楽しみにしています。

し いれに始まる れに終る 5年間ありがとうございました ごさいました 鈴木 玲奈	ポ イズンち うけてはや 2年... 毒をもて毒を付け ことを学んだ 根本 翔太	一 生の 思い出が できました! 志賀 溪伍	ト にかく 楽しかった 尾崎 駿介	お世話に なった 担任の先生
テ ンション高い みんなに受け 入れてもらえて 楽しくたぜ(笑)ノ みんなの活躍が たのしみです。山本 翠	ス バらしく 充実した 5年間になりました。 ありがとう! 小西 晴絵	ト ても楽しくて 充実した5年間 を過ごすことが できました。 ありがとうごさいました! 佐藤 静香	低学年 川崎 俊郎	高学年 梅澤 洋史
レ ん帝感の おろした (と思う) ここで5年間を 過ごした!! ありがとう。 本田 菜加	ポ リマーのよう 長くて、 色々な思い出が あった5年間です。 本当にありがとう!! 飯野 春葉	一 年生から五年 生まで長い 2年間という 思い出が ありました。 ありがとうございました!! 鈴木 優花	ト ちやうど おんなじ 思い出が ありました。 2年間 ありがとうございました!! 渡邊 光	ありがとう ごさい ました。
テ びで大変な 日々もあり 自分の成長を 実感した 5年間 ありがとうございました 桑谷 真希	ス ママ 勝ちました みんな 5年間 本当に ありがとうございました!! 伊藤 晃	ト ても楽しい 毎日でした。 みんな ありがとうございました!! 佐藤 由香	けんこう 第一!! 小島 悠人	ど うぞ また 会おう!! 永井 佳祐
楽 しい思い出 たくさん できた5年間 です。 本当に ありがとうございました。 鈴木 優	し っかり 勉強します。 坂本 舞央	い ままで5年間 ありがとう ごさいました! 楽しい思い出 がたくさん ありました。 田中 絢子	思 い 思い出が たくさん ありました。 5年間 楽しかったです。 ありがとうございました。 中川 葵	い ままで ありがとう! みんな 元気で なさい!! たけ 由紀
出 席日数 の多い 5年間 ありがとうございました。 河野 ぼろ	し っかり 勉強します。 坂本 舞央	か なしく なる... 三浦 博平	で かい 一期一会! 佐藤 拓	て いきて きた 5年間 ありがとうございました。 小野田 崇司
コ の5年間、 いろいろな 思い出が ありました。 楽しかったです!! ありがとうございました。 山崎 翠	な んでも あった 5年間 です。 小西 晴絵	い んな 思い出が たくさん ありました!! ありがとうございました!! 佐藤 由香	の み過ぎて ふたつに 気づきます。 佐藤 由香	は ぴり な 5年間 ありがとうございました。 みんな 元気です!! 山崎 翠
よ く鼻血 を出 した。ち の 食べ過ぎ には 気を 付け ます!! 原田 睦	う ちと な 5年間 です。 山崎 翠	か んどう 的な 5年間 です。 山崎 翠	い はい 楽しい 5年間 です。 山崎 翠	の めが と 5年間 です。 山崎 翠
せ 人せい 方 5年間 ありがとうございました。 山崎 翠	い ままで ありがとう ごさいました。 山崎 翠	な がい な 5年間 です。 山崎 翠	の んびり と 5年間 です。 山崎 翠	ね たの つ 5年間 です。 山崎 翠
そ こ こ 5年間 楽し く 過 せ た 山崎 翠	う れしい 5年間 です。 山崎 翠	な か よし 5年間 です。 山崎 翠	の 5 年 間 が あ り ま す。 山崎 翠	ね! 5 年 間 が あ り ま す。 山崎 翠

建設環境工学科



思い出を経験に～夢にむかって、歩んでいこう！～

建設環境工学科 5年担任 齊藤 充弘

みんな、卒業おめでとう！

この3年間を振り返るとあっという間ですが、毎日、楽しく過ごすことができました。朝、高々と響き流れる校歌の中、教室にむかうのが毎日楽しみで、心から気持ちよく過ごすことができました。ありがとう。

担任を務めるにあたり、ある言葉を心に秘めて過ごしてきました。それは、高專着任後に先輩教員から言われたり、高專機構の研修の場で言われたりした言葉で、「クラスは、担任の写し鏡だよ。」「クラスは、担任に似る…」ということを再三聞かされました。「私は『たにん』でなく、『たんにん』だ!」、「クラスは、家族!!」と言ってきたのは、このような言葉が背景にありました。5年生も終わりに近づくと、みんなの前で私の言葉を代弁してくれる人や、3年間続けてきた今週や今月の目標に、私が思っていることをズバリ書いてくれるのをみて、確かに、そうなのかな…と実感する一方で、もう一つの気づきがありました。クラス全体としてみると、確かに担任の雰囲気や性格が表れているのかもしれませんが、その中の一

人一人をみても、さまざまです。問題なく生活している中でも、遅刻や提出物の遅れ、めんどくさいことや大変なことを避けて通る…など、決してよくないことも多々ありました。その度に、「コラッ!」と言ってきたわけですが、その一方で、目の前で遭遇していることは、自分の中にもあることなのではないかと思うようになりました。めんどくさがるどころ、消極的なところ、だらしなさ、心の弱さは私の中にもあって、それは誰もがもっている部分であり、それに「学生の姿を通して気づき、正していくことが必要だよ、それが教員だよ!」、と教えてくれているのではないかということに気づきました…というか、みんなから教えてもらいました。これまでみんなと楽しく過ごした3年間の思い出を経験にかえて、自身の夢と教員としての成長にむけて、これからも一生懸命、教員として仕事をしていきます。

“みんな家族”は、これからも変わりません。お互いに成長する姿をみることを楽しみに、夢にむかって歩んでいきましょう!

高専での5年間は、 波乱に満ちていましたが、 今では大いなる思い出です。 皆様、ありがとうございました！ 岩井 英倫	みんな ありがとう 楽しかった！ 植村 飛鳥	今までたくさんの人にお世話になりました。 特にありがとうございました。 今後はお世話になった方、 人の役に立てる仕事を していきたいです。 遠藤 雅也	5年間過ごして、 素晴らしい友だちに出 会って、仲間が増えました。 お疲れさまでした。 ありがとうございました。 大平 哲也	5年間 みんなみんな ありがとう!! 大平 菜津子
ありがとう 楽しかった みんな 思い出重いで!! 大和田 嵩	5年間 ありがとう 川平 太郎	身体に 気を付けて! 川村 樹	お世話にな りました。 ありがとう! 菊地 新	東京に来ることが あったらぜひうちに 飯にきてね! 久保 祐輝
5年間 ありがとう ございました! 高岡 大輔	みんなと過ごせ とても楽しかった。 ありがとう。 郷 瑞樹	"一期一会" たいてい一度は人生で かみゆいに出会える 本気でつかみとりたい。 ありがとう。 近藤 翔太	福島高専で5年間 過ごしていい思い出 思い出が作れました。 みんなと出会えて本当に よかったです。ありがとう!! 今野 小百合	5年間、大変お世話 になりました。 あ、という間でしたが、 みんなと楽しい日々 を過ごせて良かったです。 本当にありがとう!! 坂本 美咲
5年間がんばり ました。 みんなさん、 お疲れさまです。 品川 綾	楽しかった。 卒業 わーい!! 品川 歩生	みんな 家族	笑いあり 笑いあり 笑いありの 5年間でした。 柴崎 愛美	にぎやかで楽しい クラスで5年間 すごしたこと、うれ しく思います。 ありがとう! 柴田 愛美
ハッション!! ありのままの 姿見せるのよ。 庄司 陽	5年間 ありがとう また会いましょう!! 鈴木 景祐	高専生活5年間、 つらいとかやめたとか 思わずに過ごせたのは みんなのおかげです。 本当にありがとう!! 鈴木 萌以	つらい6年間でしたが このクラスの皆と たくさん笑うことが 出来ました!本当に ありがとう!! 高杉 凌平	5年間 ありがとう 竹原 遼
5年間、 しやかった! 楽しかった! ありがとうございました! 手塚 早紀	5年間 お疲れ様 でした 戸田 大樹	ばいばーい!! みんな元気でね。 富田 賢志朗	このマスに書けない くらい思いでい はいです。 みんな有難う! 富塚 俊太	このクラスで5年間 過ごせて本当にうれ しいです。 みんなありがとう! 卒業してはハッピー 鳥谷 信太郎
5年間で楽しい思い出 がたくさんできました! みんな本当にありがとう。 この思い出を糧に頑張 りましょう!! 長瀬 悠也	毎日笑って 過ごせました。 ありがとう!! 中根 滉太	たくさん笑って たくさん楽しい思い出 ができた5年間 でした。 ありがとう! 中野 あずさ	人生で一番大切 な時間を過ごせ た気がします。あり がとう。みんなホテ ンシャルやばい。 比佐 美南	いつも笑って 過ごせました。 卒業してもみんなと 集まろうね。 馬場 歩
5年間ついに 独り身のワタシが ありがとうございました。 山田 葵子	みんな、 ありがとう 楽しかった!! 渡辺 一旭	5年間めっちゃ 楽しかったです! ありがとう! 渡辺 ともみ	長いようで短いよ うな長けた5年間 でしたが、全く無駄 のない5年間でも ありました。ありがとう ございました。 渡辺 泰行	クラスの皆さん、今まで ありがとうございました。 これから一人ひとりに 対して健康に過ごし ていきましょう。アヨナ! 渡辺 凌

コミュニケーション情報学科



贈る言葉

コミュニケーション情報学科 5年担任 松江 俊一

ご卒業おめでとうございます。皆さんは縁あって5年間というこれまでの人生の4分の1もの長い時間を、そしてまだ子供っぽさが残る16歳から心身共に大人となった20歳までの非常に多感な時期を同じ学び舎で一緒に過ごして来ました。もしかしたらこの5年間は親と共に過ごした時間よりも多かったかも知れません。これは本当に凄いことです。ですが別れの時がやって来ました。このクラスでの集いはもうこれっきり、名残惜しいです。

私は絆という字が好きです。絆は糸偏に半と書きます。糸は簡単に千切れて半分になってしまいますが、皆さんが結んできた糸はこの5年間で結び目を幾重も作り、細かった絆が今はとても太い綱になったと感じています。まさに 気綱（気持

ちの綱）です。明日からそれぞれの道を歩み、先々で新しい出会いが待ち受けています。これからも新しい気綱を作っていくて下さい。それらは全てがいつか生綱（生きる綱）として皆さんの人生を豊かにしてくれると思います。

思い返せばこのクラスは1年の時から本当に仲が良かった。みんながみんなを想っていた。このクラスと別れるのは本当に辛いです。このクラスの担任になれて本当に良かったです。アサーション、しっかりね。おせっかいをいっぱい焼いてね。食事は作って、できるだけ誰かと一緒に食べてね。風邪を引かず心身ともに健康でね。仕事と勉強頑張るね。

また会おうね。

祝 修了 機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻



昇る朝日のように

機械・電気システム工学専攻
専攻長 寺田 耕輔

ご卒業おめでとうございます。さて、これから社会人としてご活動されるみなさんへ贈る言葉について考え、想いをめぐらせました。在学中のみなさんと私とがいっしょに過ごした時間は、短いものでしたが、学生時代の出来事は、一生記憶に残る印象深いものです。それにふさわしい言葉として、“昇る朝日のように”と題しました。

私は、茨城県の太平洋沿いの田舎町から、毎日常磐線で福島高専に通勤しています。電車の窓からさんと照りつけている朝日の眩しさを感じながら、電車内で本を読んだり、資料作成を計画したり、学生のみなさんに伝えることを整理したりなどしています。私が住んでいる海岸線の近くでは、江戸時代1695年ごろ徳川光圀が海上から朝日の昇る様子を「朝日の立ち上る様は領内随一」と感激して、一帯を日立と命名したそうです。朝日は、はるか彼方に広がる太平洋の水平線から、暗闇のなかを昇り出でて燦然と輝くのです。まさに感動的で、その様子は音楽でいえば、リヒャルト・シュトラウス：交響詩“ツァラトゥストラはかく語りき”が非常によく似合います。

この太陽と地球の物理的運動は、未来へ続く自然現象の一つですが、多くの動植物にとって、その生命活動は、太陽からのエネルギーにより生み出されています。

まさに、新社会人となられるみなさんのご活躍が、この社会を、この地域を、そして母校を、昇る朝日のように照らしてくれることをお祈り申し上げます。

高専に編入して

機械・電気システム工学専攻
2年 坂内 菜都美

私は、本科4年次に機械工学科に編入学しました。編入はとても大変だという話を聞いていたので、自分でも覚悟していたのですが、実際は想像以上でした。高校では習わなかった単元の知識を用いて問題を解くことが多く、授業中は、先生が何を説明しているのかわかりませんでしたし、正直末だに理解できていないことも多いです。また、レポートや研究も大変で、どうしたらいいのかわからず、泣きべそをかいたときもありました。普段の学校生活でも、途中から来たという意識があり、なんとなく自分の意見を主張しにくい部分がありました。

しかし、わからないことは優しく丁寧に教えてくれたり、色々な話をしてくれたり、逆に私の話を親身になって聞いてくれたりする友達がいたので、とても支えになりましたし、嬉しかったです。さらに、専攻科に入学してからは、勉強面で助けてもらうだけでなく、食事に行ったり遊んだりすることも増え、充実した毎日を過ごすことができました。ここまで頑張ってきたのは、このようなみんなの支えがあったからこそだと思っています。

4月から社会人になりますが、今回のように助けてもらうばかりではなく、自分も周りの人の助けになるようにしていきたいと思います。

最後に、支えてくださった先生方、そしてクラスや専攻科のみなさんには本当に感謝しています。4年間ありがとうございました。

祝 修了 物質・環境 システム工 学専攻



あえて、けっこうむずかしいこと

物質・環境システム工学専攻
専攻長 車田 研一

皆さんへ贈ることばを考えなくてはならない季節がまためぐってきて、いつものように頭をかかえていました。いろいろ書いてみるのですが、なんだかの言葉もずれているような、空疎なような気がして、どうもこんなことをいっちゃいけないという気になってしまうのです。ただ、この違和感じたいがとても大事なことのよう気がして、さらさらとすぐに崩れる乾いた砂を指でひっかくような心もちで言葉をさがしています。

近々皆さんそれぞれに新しい生活をむかえられるわけですが、そういう生活というのはいつまでも新しく感じられるままであるほうがよいのか、そうではないほうがよいのか、じつはわたしにはわかりません。ただ、ひとついえるのは、新しさの感覚というのは、かならずや早晚フェイド・アウトしていくたちのものであるということです。新しい生活がはじまるとき、そのはじまりの時間のうちにわたしたち自身へなにかば暴力的にとびこんでくるひとつひとつの事象の超音速インパルスは圧倒的で、いわば心は「去勢」された状態におかれます。そのときあなたはひどくくたびれるでしょう。しかしその被去勢状態はしだいに事態を浸潤するあなた自身の反撃的生命力によって征服されていくのです。そのときにいままでのあなた自身の経験なり定番の手法なりがろくに役に立たず、むしろ邪魔くさく感じられるような状況を意図的に演出することがたいせつなように思えます。けっこうむずかしいことですが、決まりきった手のうちでは闘わない「要領がわるいあなた」でいてください。いざごちが完全にはよくないことって、きっとけっこうたいせつなですよ。わたしも、おなじ想いで精進していきたいと思っています。おたがい元気で生きましょう。

ごきげんよう！

仲間がいる幸せ

物質・環境システム工学専攻
2年 長瀬 亮

福島高专での長くもあり短くもあった7年間が终わりを迎えようとしています。この7年間を振り返ってみると、仲間と過ごした時間、課題や試験に追われた日々、進展しない研究で頭を抱えた日々、数えるときりがないほどたくさんの出来事がありました。その1つ1つを思い返すたびに、懐かしさと切なさで胸がいっぱいになります。この福島高专で過ごしたすべての時間が私の財産であり、卒業が間近に迫った今、このように思えることは本当に幸せなことなのだと改めて思います。

今から2年前に本科を修了し、私の専攻科生活が始まりました。この専攻科での2年間は新たな仲間との出会いや、人生の分岐点ともいえる就職活動や学位試験等さまざまな出来事があり、非常に濃い2年間となりました。そんな中で今の自分が笑って過ごしていられるのは、苦楽を共にした仲間の存在があったからだと思います。みんな、本当にありがとう。在校生の方々には、仲間が側にいる当たり前の幸せを今以上に感じながら、残りの学校生活を送ってほしいです。

福島高专は、私を技術者としてだけでなく、人間として大きく成長させてくれました。4月からは、新たな環境での生活がスタートしますが、福島高专での思い出を糧に、精進していきたいと思っています。

最後になりますが、今まで私を支えてくれた様々な方々に感謝の気持ちを示したいと思います。本当にありがとうございました。

祝 修了 ビジネス コミュニケーション学 専攻



贈る言葉

ビジネスコミュニケーション学専攻
専攻長 芥川 一則

卒業の時期になるとよく流れる歌謡曲に「贈る言葉」がある。しかし、同名の小説があることを皆さんはご存じだろうか。1960年代の学生運動盛んな時期を舞台とした内容である。以前、あるラジオ番組でその作詞者は、作詞においてこの小説からの影響を語っていた。修了にあたり言葉を贈ることとしたい。

小説の中でこのような場面がある。主人公は優等生として学生時代を過ごしてきた。そのため行動パターンが固定化され、自分の行動に枠をはめていたことに気づき、愕然とする。そして、その枠を取り除くことに苦闘したことを話している。皆さんはそのような経験はお持ちだろうか。人間の性格を行動パターンの癖と定義する考え方もある。

先日、知り合いの経営者の方とお話する機会があった。その方は企業を革新的なものへと変革を試みたが、従業員は従来の組織構造にしがみつき、変革を達成できなかった、と無念そうに話されていた。生産性の向上や新たな市場への参入を果たすためには、企業自体の意識変革が必要不可欠であることが、その背景にあるようである。

グローバル化が流行しているが、皆さんの認識はどうであろうか。外国語が話せることが、それへの対応であろうか。この流れにより、企業は国内ニーズへの対応から全世界からのニーズへの対応が求められている。そのためには、これまでの枠にとらわれない革新的な発想がその一つの対応と考えられる。みなさんには「固定概念からの脱却」を贈る言葉としたい。

専攻科修了を迎えて

ビジネスコミュニケーション学専攻
2年 多久島 成美

とうとう専攻科の修了を迎えました。本科の半分以下の二年という期間でしたが、就活や学位試験など私たちにとって大きな試練が続き、とても濃い二年間だったように思います。その分、ようやく卒業を迎えられる達成感も大きいです。

私は、専攻科での生活を通して人とつながりの大切さをしみじみと感じました。留学戻りということもあり、工学系専攻はもちろんビジコミのメンバーともほぼ初対面という状況でした。しかし今では毎日昼食を共にし、ときに外食や遊びに出かけ、くだらない冗談を言い合うような仲です。入学時、実はとても不安でしたが、優しく受け入れてくれた彼らには本当に感謝しています。

また、海外インターンシップでは、現地の教授や友人たちに大変お世話になりました。その一部の方々と偶然にも日本で再会する機会があり、微力ながら彼らを手助けできたことを嬉しく思います。

こうして思い返してみると、本当に多くの人に支えられて今の自分があるのだということを実感します。制服に着られていたような自分が、いつの間にかスーツを着て就活を行い、論文を書くようになっていたことを思うと、先生方や友人たちのおかげでここまで成長できたということを痛感せざるを得ません。

本科からは七年という長い期間指導してくださった先生方と、専攻科の二年間を笑って過ごさせてくれた友人たちに改めて感謝の意を表します。ありがとうございました。

平成26年度 卒業生・修了生の進路状況について

男女共同参画・キャリア教育支援室 キャリア教育責任者 山本 敏和

昨年度に統合されました「男女共同参画・キャリア支援室」にて、本年度も旧進路対策委員会の業務を担当して参りました。今年度の本科卒業・専攻科修了学生につきましては、平成25年10月から就職ガイダンス、福島高専協力会企業による合同説明会、面接指導講習会、進路別学習、STAR T(一般常識・学力試験)、R-CAP(適職・適性診断)、仙台での合同企業説明会への集団参加、公務員模試を実施して参りました。

26年度本科5年生・専攻科2年生の就職希望者は126名(男子82、女子44)でありました。本校には各科の就職希望者の24～12倍の求人を頂いております。また全国各地の大学から進学に関する募集要項が届いています。これらは過去の卒業生・修了生の各方面での活躍が高く評価されている結果と考えられ、誠に有り難いことです。2月末現在の就職内定率は98%となりました。本科5年生・

専攻科2年生の進学希望者は115名(男子77、女子38)であり、3月末までにほぼ全員進学先が決まる見込みです。例年のように卒業・修了学生の進路がほぼ100%決定したのは、学生本人の努力によるところであることはもちろんですが、ご家庭、担任、専攻長をはじめとする先生方の御指導および書類の準備・発送等を担当された事務の方々のご支援の賜であります。

来年度の卒業・修了生に関しては、企業の求人活動が従来よりも遅く開始されますが、本校では既に就職対策として就職ガイダンス、面接指導講習会、進路別学習を実施しました。また進学希望者も進学先を考えて準備を進めているものと思います。今年度と同様に平成27年度も学生諸氏の就職・進学に関する活動が順調に進みますことをお祈り申し上げます。

本 科 生 の 進 路 (平成27年3月卒業)

() は女子学生

区 分	機械工学科	電気工学科	物質工学科	建設環境工学科	コミ情学科	計
卒 業 者 数	39(3)	46(2)	46(23)	38(13)	42(32)	211(73)
進 学 者 数	18(2)	21(0)	22(8)	18(5)	21(14)	100(29)
就 職 者 数	20(1)	24(2)	23(14)	20(8)	14(12)	101(37)
そ の 他	1(0)	1(0)	1(1)	0(0)	7(6)	10(7)

専 攻 科 生 の 進 路 (平成27年3月修了)

() は女子学生

区 分	機 械 ・ 電 気 システム工学専攻	物 質 ・ 環 境 システム工学専攻	ビジネスコミュニケーション学専攻	計
修 了 者 数	12(2)	11(3)	7(3)	30(8)
進 学 者 数	0(0)	4(1)	2(0)	6(1)
就 職 者 数	12(2)	7(2)	4(3)	23(7)
そ の 他	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)



学生会活動の1年を振り返って

学生会長 建設環境工学科 4年 宮脇 公平

福島高専の学生会では、学生会役員として、低学年の学生が積極的に参加しています。低学年が多いことのメリットとして、引継ぎが効率的に行われることが挙げられます。今年度の役員も、昨年度の経験を生かして精力的に活動してくれました。

学生の皆さんも記憶に新しいと思いますが、今年度は、例年通りの活動に加えて、新たに七夕企画を立案しました。これは秋田高専の学生会からアドバイスを頂いた企画でもあります。また、今年度は他高専との交流を多く行った一年でもありました。このつながりを来年、再来年と広げてほしいと思います。

最後にこの場をお借りしまして、学生会活動を支えてくださった先生方、先輩方にお礼を申し上げたいと思います。来年度も素晴らしい役員に恵まれました。今後の学生会の活躍に期待してください。

平成27年度学生会執行部役員選挙結果

役 職	学 年 学 科	氏 名
学 生 会 長	機 械 工 学 科 3 年	根本 卓明
副 会 長	物 質 工 学 科 3 年	宗像 蘭
書 記	物 質 工 学 科 3 年	星 柊充
"	建 設 環 境 工 学 科 2 年	延松美優花
"	コミュニケーション情報学科1年	永山 優香
会 計	コミュニケーション情報学科3年	西山 伊代
"	コミュニケーション情報学科2年	岸 佑里香
"	建 設 環 境 工 学 科 1 年	遊佐 和貴
会 計 監 査	物 質 工 学 科 2 年	高橋 昂太
"	建 設 環 境 工 学 科 2 年	星 達也
"	コミュニケーション情報学科1年	櫻井 友香
運動部 部 長	建 設 環 境 工 学 科 3 年	井戸川将大
" 副部長	機 械 工 学 科 2 年	広瀬 陸
文化部 部 長	物 質 工 学 科 3 年	松井 萌
" 副部長	物 質 工 学 科 2 年	遠藤 里菜
研究部 部 長	機 械 工 学 科 3 年	鳥羽 祐丘
" 副部長	電 気 工 学 科 2 年	高橋 諒太



平成26年度磐陽祭開催報告

学生主事補 宮本 拓歩

磐陽祭を終えて

磐陽祭実行委員長 建設環境工学科4年 四家 哲人

今年度の「磐陽祭」は、11月1日（土）に本祭準備および前夜祭、11月2日（日）に一般公開の本祭が行われました。前夜祭時は雨天であり、本祭当日の天候が気になるところでしたが、早朝には日が差し、絶好の行楽日和となりました。2000人を超える来場者にも恵まれ、盛況の中、終えることができました。

今回は「心のベクトルをひとつに～仲間と創る文化の日～」のテーマのもと、全学生一丸となり、各自の日頃の研究や課外活動等の成果を公開することができたのではないのでしょうか。また、ゲスト出演としてNeoBalladさんに来ていただき、盛り上げていただきました。ヴォーカルの若狭さちさんは本校コミ科出身で、在校生にとっては、将来のひとつの姿として重ねることができたのではないかと思います。

最後に、磐陽祭開催にあたり、保護者の皆様、近隣の方々、そして関係機関の皆様に、ご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。来年度以降もよろしくお願い申し上げます。

今年度の磐陽祭は、「心のベクトルをひとつに～仲間と創る文化の日～」をテーマに学生全員が心をひとつに長い時間をかけて準備してきました。

本祭のメインイベントは、本校コミュニケーション情報学科卒業の若狭さちさんがボーカルを務めるNeoBalladさんが会場を盛り上げてくれました。その他にも、ロボット技術研究会の実演、吹奏楽部の演奏、演劇部の公演、ストリートダンス愛好会によるダンス披露、ライブ演奏などそれぞれの団体が日頃の鍛錬の成果を発揮し披露してくれた渾身のパフォーマンスは、大いに会場を盛り上げてくれました。

保護者の皆様、地域の皆様、またご協賛いただいた多くの企業の皆様のご協力により、前夜祭、本祭ともに大きな問題もなく大盛況のうちに終了することが出来ました。実行委員会一同より心から御礼申し上げます。



全国高専ロボコン出場報告

機械工学科3年 鳥羽 祐丘



平成26年11月23日、国技館。そこで「全国高専ロボコン2014」が行われた。今年のテーマは「出前迅速」。お蕎麦の「蒸籠」を早く、落とすことなく運ぶ競技だ。そんなルールの中で我々福島高専Aチームは「おトドケ・受けトリ」というロボットを作成した。このロボットの特徴は角材ゾーンを、大きなタイヤ3個と小さいタイヤ約30個を駆使し、止まることなく進むことである。また、センサを用いた電気制御によって傾斜ゾーンでも蒸籠を水平に保つことが出来る特徴も持っている。そしてこのロボットは、当日アクシデントがあったが東北大会で優勝することが出来た。しかし、全国大会では準決勝敗退という不本意な結果を残してしまった。そして来年、この悔しさを糧にして「全国優勝」を勝ち取ってきたいと思っている。

今、この文章を見ている新高専1年生と中学生。ぜひ、私たちと一緒に「すごい！」と思わせるようなロボットを作りませんか？

全国高専プログラミングコンテスト参加報告

プログラミングコンテスト指導教員 小泉 康一

平成26年10月18日（土）、19日（日）の両日、一関文化センターにて第25回全国高専プログラミングコンテストが開催されました。本校は2つの部門に出場しました。自由部門に、量子将棋という変わった将棋のプレイシステム「おそろく王手」という作品を展示し、そして競技部門では画像パズルに出場しました。自由部門は、自分たちの作成したプログラミング作品を2日間展示してその紹介を行い、商品としてより魅力的なモノかどうかを評価される大会で



でした。一般にいう15ピースパズルの発展形の競技です。こちらは準決勝で敗退という結果でした。応援してくださった皆様には御礼を申し上げます。



す。本作品は審査員からの評価は比較的良かったのですが、優秀賞には及ばず、結果として敢闘賞をいただきました。競技部門の内容は、絵柄がばらばらになっているCG画像から元の画像を推測して、より素早くより正確に戻すというパズル競技



全国高専デザインコンペティション参加報告

建設環境工学科4年 金成 雅季

平成26年11月8日（土）、9日（日）の二日間、熊本県八代市総合体育館にて全国高専デザコンコンペティションが開催され、構造デザイン部門に福島高専から2チームが参加しました。今回の課題は現地で組み立てる『架設性能』として、組み立て時間も競技の評価に含まれるものでした。短時間で製作し、より軽量で大きな荷重・風・振動に耐える構造物（タワー）ができるか競うものでした。



結果、Aチーム：磯上友輝（4K）・○金成雅季（4K）・田邊陽（4K）・鹿又善憲（3K）は、競技内容全体の性能が平均的に高く、71.33/100点で60チーム中6位、Bチーム：○遠藤健悟（4K）・原田真衣（4K）・草野泰治（2K）は架設性能が秀でており、57.02/100点で60チーム中28位という結果でした。



早期着工やCADによる解析はできませんでしたが、本番前日まで宿泊先で試行錯誤を加えることで、より良い結果を出すことが出来ました。

来年度は、今年度達成できなかった課題を積極的に取り組んでいきたいと思っています。

全国高専英語プレゼンテーションコンテスト参加報告

英語プレゼンテーションコンテスト指導教員 加藤 明子

2015年1月24・25日の二日間、東京代々木オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第8回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが行われました。本校からは、コミュニケーション情報学科3年生、本田歩さんがスピーチ部門に参加しました。本田さんは、10月に行われた東北予選を2位で通過し、全国大会まで練習を重ねてきました。入賞は逃しましたが、福島の現状について、力強いスピーチを披露しました。当日は、中村校長先生にもご来場いただき、心強い応援をいただきました。最後になりますが、原稿作り、練習にご協力いただきました先生方に心より感謝を申し上げます。来年度は、ぜひスピーチ・プレゼンテーション両部門での全国大会出場を目指したいと思います。



体 育 部

◎平成26年度福島県高等学校新人体育大会 県大会

■陸上競技 (男子)

400m	鈴木 陵太 (2E)	第 7 位
三段跳	今野 和樹 (2K)	第 8 位
ハンマー投	佐藤 将富 (1C)	第 7 位

■陸上競技 (女子)

400m	武藤 咲希 (1I)	第 8 位
800m	武藤 咲希 (1I)	第 5 位

■バレーボール (男子)

団体戦		1 回戦敗退
-----	--	--------

■ソフトテニス (男子)

団体戦		2 回戦敗退
ダブルス	吉田 翔太 (1K)	3 回戦敗退
	小泉 亮太 (1C)	
〃	千葉裕太郎 (2C)	1 回戦敗退
	鈴木 溪太 (2K)	
〃	酒井 達弥 (2C)	1 回戦敗退
	飯塚 睦 (2M)	
〃	高橋 昂太 (2C)	1 回戦敗退
	小野 玲史 (2C)	

■ソフトテニス (女子)

ダブルス	石井 佑香 (2C)	1 回戦敗退
	古川 千尋 (1M)	

■テニス (男子)

学校対抗		予選リーグ 2 回戦敗退
シングルス	橋本 拓実 (1M)	第 8 位

■テニス (女子)

シングルス	篠原なつみ (2I)	2 回戦敗退
-------	------------	--------

■卓球 (男子)

学校対抗		初戦敗退
ダブルス	渡邊 凌 (2M)	ベスト16
	加藤 翔 (1E)	
シングルス	加藤 翔 (1E)	ベスト32
〃	渡邊 凌 (2M)	3 回戦敗退

■卓球 (女子)

学校対抗		第 3 位
ダブルス	猪狩 栞菜 (2I)	第 3 位
	高橋 百花 (1I)	
〃	佐藤 泉 (2I)	ベスト16
	小林 千莉 (1K)	
シングルス	佐藤 泉 (2I)	第 3 位
〃	猪狩 栞菜 (2I)	ベスト16
〃	高橋 百花 (1I)	ベスト16

■剣道

団体戦		1 回戦敗退
-----	--	--------

■水泳 (男子)

200m自由形	坂本 亮太 (1M)	予選敗退
〃	齊藤 圭紀 (2M)	予選敗退
〃	仲村 誉 (2K)	予選敗退
400m自由形	坂本 亮太 (1M)	予選敗退
〃	齊藤 圭紀 (2M)	予選敗退
〃	仲村 誉 (2K)	予選敗退
100m背泳ぎ	菊地 啓太 (2C)	予選敗退
100m平泳ぎ	長谷川 貴哉 (1K)	予選敗退
〃	安達 拓朗 (2E)	予選敗退
〃	蒲生 博崇 (2E)	予選敗退
200m平泳ぎ	齊藤 泰直 (1M)	予選敗退
〃	長谷川 貴哉 (1K)	予選敗退
〃	安達 拓朗 (2E)	予選敗退
200mバタフライ	会田 優斗 (1K)	予選敗退
200m個人メドレー	齊藤 泰直 (1M)	予選敗退
〃	会田 優斗 (1K)	予選敗退
〃	菊地 啓太 (2C)	予選敗退
400m個人メドレー	蒲生 博崇 (2E)	予選敗退
400mリレー		予選敗退
400mメドレーリレー		予選敗退

■水泳 (女子)

50m自由形	鈴木 彩那 (1I)	予選敗退
〃	櫻井 友香 (1I)	予選敗退
100m自由形	鈴木 彩那 (1I)	予選敗退
〃	櫻井 友香 (1I)	予選敗退

■バドミントン (男子)

団体戦		1 回戦敗退
ダブルス	金澤 樹生 (2E)	2 回戦敗退
	藁谷 真輝 (1M)	
シングルス	藁谷 真輝 (1M)	1 回戦敗退

■バドミントン (女子)

ダブルス	藤枝 まみ (2K)	1 回戦敗退
	青田 理咲 (1C)	

■弓道 (男子)

個人戦	山田 一圭 (2E)	予選敗退
個人戦	八木橋慧人 (2I)	予選敗退

■弓道 (女子)

個人戦	松崎由季乃 (2K)	予選敗退
個人戦	横田 美月 (2K)	予選敗退

◎第59回福島県高等学校駅伝競走大会

男子チーム		第19位
-------	--	------

◎東日本大震災復興支援第69回国民体育大会陸上競技

少年男子400m	古和口 廉 (3K)	準決勝敗退
----------	------------	-------

◎第12回福島県高等学校秋季ソフトテニス選手権大会

団体戦		予選敗退
-----	--	------

◎第38回NHK杯福島県クラブ対抗ソフトテニス大会

団体戦		決勝トーナメント 1 回戦敗退
-----	--	-----------------

◎第69回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会

男子ダブルス	佐藤 伸耶 (5E)	1 回戦敗退
	小笠原和也 (磐城三和STC)	

◎第44回福島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会

個人戦男子	千葉裕太郎 (2C)	1 回戦敗退
	鈴木 溪太 (2K)	

◎第41回福島県ダブルステニス選手権大会(ジュニアの部) 兼第30回東北インドアテニス選手権大会選手選考会

男子ダブルス	橋本 拓実 (1M)	4 回戦敗退
	鈴木 喬也 (2C)	(ベスト16)
〃	小松 誠司 (2M)	3 回戦敗退
	根本 晃成 (2M)	
女子ダブルス	篠原なつみ (2I)	2 回戦敗退
	蛭田 愛未 (2C)	

◎第3回福島空港公園秋季選抜ジュニアシングルステニス大会

男子シングルス	橋本 拓実 (1M)	
		決勝トーナメント 1 回戦敗退

◎第34回福島県春季選抜ジュニアシングルステニス選手権大会兼第22回東北春季ジュニアテニス大会予選会

男子シングルス	橋本 拓実 (1M)	3 回戦敗退
〃	鈴木 喬也 (2C)	2 回戦敗退

◎第43回会津白虎杯卓球大会

男子団体戦		第 3 位
-------	--	-------

◎東日本大震災復興支援第69回国民体育大会卓球競技

少年女子 (福島県代表)		
	大浦 悠 (3K)	1 回戦敗退

◎平成26年度東京卓球選手権大会福島県予選会 (一般の部)

男子ダブルス	木田 貴文 (4C)	3 回戦敗退
	佐藤 瑞樹 (4C)	
〃	安齋 正樹 (3K)	3 回戦敗退
	矢内 智大 (3M)	
〃	鯨岡 康佑 (3E)	3 回戦敗退
	高信 京介 (3E)	
男子シングルス	安齋 正樹 (3K)	第 3 位 (本選出場)
〃	木田 貴文 (4C)	2 回戦敗退
〃	矢内 智大 (3M)	2 回戦敗退
〃	鯨岡 康佑 (3E)	1 回戦敗退
〃	鈴木 孝幸 (4E)	予選リーグ敗退

男子シングルス	佐藤 瑞樹 (4C)	予選リーグ敗退
"	高信 京介 (3E)	予選リーグ敗退
女子ダブルス	大浦 悠 (3K)	ベスト 8
"	佐藤 泉 (2I)	
"	猪狩 葉菜 (2I)	3 回戦敗退
"	高橋 百花 (1I)	
"	齋藤佳菜子 (4I)	2 回戦敗退
"	外山 愛 (TEAM SANKYO)	
女子シングルス	齋藤佳菜子 (4I)	2 回戦敗退
"	大浦 悠 (3K)	2 回戦敗退
"	猪狩 葉菜 (2I)	2 回戦敗退

女子シングルス	佐藤 泉 (2I)	1 回戦敗退
"	高橋 百花 (1I)	予選リーグ敗退
◎第69回東北高等学校卓球選手権大会 1 次予選会		
女子シングルス	佐藤 泉 (2I)	リーグ戦24位
◎平成26年度全日本卓球選手権大会		
男子シングルス	安齋 正樹 (3K)	1 回戦敗退
◎第19回学年別弓道大会		
1 年女子個人戦	高倉 友菜 (1C)	第 3 位
◎郡山カップ第9 回福島県フットサル選手権大会		
福島高専 A チーム		準優勝

文化部・研究会・サークル

■写真部

- ・東北地区高等専門学校文化部発表会 写真部門

草野 翔 (5M)	特選
下谷 大 (3K)	入選
安藤 純奈 (1K)	入選
- ・第44回いわき市美術展覧会

いわき市文化協会会長賞	江尻 乃亜 (2I)
-------------	------------
- ・H26年度いわき地区高等学校写真連盟写真展

特 選	鏡幻の世界	海原陽菜子 (2M)
准特選	Last summer	海原陽菜子 (2M)
准特選	夕霞の白梅特急	今井 志信 (1C)
入 選	銀雪の輝き	海原陽菜子 (2M)
入 選	今を遺す	海原陽菜子 (2M)
入 選	ミステリーサークル	下谷 大 (3K)
入 選	川面の風吹き	高木 迅哲 (1K)
- ・第2回福島高専写真部写真展「極彩色の裏磐梯」(3/17-22) 開催
- ・福島高専写真部写真集2014 Vol15 発行
- ・朝日新聞3月3日朝刊 放課後写真館

江尻 乃亜 (2I)	写真掲載
------------	------
- ・いわきこうべ若者架け橋プロジェクト

高木 迅哲 (1K)・安藤 純奈 (1K)	参加
-----------------------	----
- ・いわき街なかコンサート in TAIRA 2014

撮影ボランティア活動	
------------	--
- ・いわき太平洋・島サミット2015 撮影ボランティア活動

■美術部

- ・東北地区高等専門学校文化部発表会 美術部門

合津 真吾 (1M)	入選
------------	----

■吹奏楽部

- ・第36回定期演奏会 開催
- ・第42回福島県アンサンブルコンテスト 出場

■茶華道部

- ・いわき学校茶道連盟第37回合同発表会 参加

■演劇部

- ・第57回いわき地区高等学校演劇コンクール 優秀賞第3席

■ストリートダンスサークル

- ・いわき街なかコンサート 出演

◎アイデア対決・全国高等専門学校ロボコン2014

東北地区大会

福島高専 A チーム「おトドけ・うけトリ」	優勝
鳥羽 祐丘 (3M)・武田 亮完 (2M)	
強口 藍子 (2M)	
福島高専 B チーム「蒸籠丸」	1 回戦敗退
星 柊充 (3C)・高橋 諒太 (2E)	
秋山 高德 (2M)	

◎アイデア対決・全国高等専門学校ロボコン2014全国大会

福島高専 B チーム「おトドけ・うけトリ」	
鳥羽 祐丘 (3M)・武田 亮完 (2M)・強口 藍子 (2M)	ベスト 4

◎全国高等専門学校第25回プログラミングコンテスト

【自由部門】 タイトル「おそろく王手-AR量子将棋盤-」

青木 僚平 (5E)・岩本慎太郎 (5E)・小林 尚輝 (5E)・川崎 裕幸 (5E)・間野目 大 (5E)	敢闘賞
【競技部門】「競技ロボ モウダメダー-そうだ手でやろう-」	
猪野 康弘 (5E)・駒木根大海 (5C)・馬目 華奈 (4I)	準決勝進出

◎全国高等専門学校デザインコンペティション2014

【構造デザイン部門】

チーム名「FUKUSHIMA A」	第 6 位
金成 雅季 (4K)・磯上 友輝 (4K)・田邊 陽 (4K)・鹿又 善憲 (3K)	

チーム名「FUKUSHIMA B」	第28位
遠藤 健悟 (4K)・原田 真衣 (4K)・草野 泰治 (2K)	

【空間デザイン部門】

作品名「工場と生きるまち下川」	予選敗退
大平 哲也 (5K)・鳥谷信太郎 (5K)・長瀬 悠也 (5K)・中根 滉汰 (5K)・比佐 美南 (5K)・近藤 絢乃 (5K)	

◎第8回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト

本田 歩 (3I)	準優勝
嘉齊 滉 (3I)	出場

◎高校生英語スキット・スピーチ甲子園2014 (スキット部門)

佐川 晶 (1I)・長谷川花織 (1I)・藤間なつみ (1I)	審査員特別賞
---------------------------------	--------

◎第8回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

スピーチ部門 本田 歩 (3I)	出場
------------------	----

■分子生物学愛好会

- ◎第7回先端ものづくりチャレンジ2014イン習志野

ロボット競技部門	最優秀賞
ロボット名「菊花 (Kicker)・改」	
代表	小林 翠 (5C)
制作グループ	笹川 桃佳 (2C)・清水 和恵 (2C)・會川 結衣 (1C)・金成 留佳 (1C)

学 会 表 彰 等

◎社団法人日本機械学会 (畠山賞)

松崎 本夢 (5M)	
------------	--

◎電子情報通信学会東北支部優秀学生賞

佐藤 伸耶 (5E)	
------------	--

◎電気学会東北支部優秀学生賞

金丸 允駿 (5E)	
------------	--

◎日本化学会東北支部長賞

佐藤 拓未 (5C)	
------------	--

◎全国高専土木工学会 (近藤賞)

品川 歩生 (5K)	
------------	--

◎独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

土屋 裕紀 (5E)	
------------	--

トビタテ!留学JAPAN報告

物質・環境システム工学専攻1年 小泉 亜未

私は、官民協働海外留学制度 トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラムの第一期派遣留学生として、昨年の10月に1カ月間の海外インターンシップを行いました。この制度は、文部科学省の留学促進キャンペーン「トビタテ!留学JAPAN」の主な取り組みの一つであり、派遣留学生に選ばれると授業料や現地活動費、渡航費といった奨学金や研修などのサポートを受けることができます。海外インターンシップでは、オーストラリアのタウンズビルにあるジェームズクック大学に通い、研究に参加させていただきました。海外の大学で行われている研究を体験できたこと、同分野で勉強する各国の学生に出会えたことは非常に良い経験となりました。また、大学やホームステイ先の家庭での生活を通して英語力を向上させることができましたと感じています。休日にはホストファミリーや大学の友達と出かけ、楽しい思い出を作ることができました。海外インターンシップを通して、自分自身を成長させることができましたと感じています。今回得た経験を今後の自分の人生に役立てていきたいです。



いわき島サミットプレ事業で太平洋島嶼国政府関係者一行が来校

平成27年5月にいわき市で開催される「第7回太平洋・島サミット」の一環として来日した太平洋島嶼国政府関係者一行が、平成26年12月5日に本校を視察に訪れました。

初めに中村校長から歓迎の挨拶があった後、校内の実験装置等の見学や学生との交流会を行いました。交流会では、コミュニケーション情報学科1年生による東日本大震災時の様子についての英語劇とストーリーダンスが披露された後、島嶼国一行の参加国ごとにグループを作り、英語で各国の様子について質問をしたり、訪問者の氏名を漢字の当て字にした色紙を贈るなど交流を深めました。



NOVAと連携したテレビ電話での英語学習を開始



本校は、平成26年11月から、「いわきから世界に活躍するイノベーション人材を育てる」をキャッチフレーズとして掲げ、更なる国際化に対応するためには語学力の向上、特に英語によるコミュニケーション力を身につけることが重要であるとの考えの下、NOVAと連携した英会話学習を開始しました。第1期生としてコミュニケーション情報学科の学生と教職員の計14名が受講しています。また、12月からは工学系の学生と教職員計13人が放課後等を利用してテレビ電話での英会話学習を行っています。受講者は、テレビ電話を利用してネイティブスピーカーの外国人講師からレッスンを受けており、英会話力のレベルアップが期待されます。

東北大学災害科学国際研究所との覚書を締結

本校は、平成26年9月8日に、東北大学災害科学国際研究所と、防災・減災、地域復興に向けた人材育成、共同研究等を推進するための覚書を締結しました。本校の防災・減災分野に関する連携の締結は初めてとなります。今後は、人材交流や双方が保有する施設・設備の相互利用を行うなど連携を深め、これまでの取り組みをさらに活性化していくこととしています。社会ニーズに対応した研究の深化、さらには未来を担う人材を育成すべく活動を展開してまいります。



産業技術総合研究所との連携・協力に関する協定を締結

独立行政法人 産業技術総合研究所と本校を初めとする福島県内4つの高等教育機関（福島高専、会津大学、いわき明星大学、日本大学工学部）は、平成27年2月26日に学術及び産業技術の振興に寄与することを目的に連携・協力に関する協定を締結しました。今後は、研究施設の相互利用や研究交流を通して、再生可能エネルギー分野での研究開発を推進し、震災からの復旧・復興に貢献し、産業技術の振興に寄与すべく活動してまいります。

女子中学生対象のわくわく体験授業を開催しました



平成26年10月4日、5日の両日、本校で女子中学生を対象にした学校開放事業「わくわく体験授業」を開催しました。

4日はキャラクターを使った販売促進や広告の効果について考える「キャラクターについて考えてみましょう!」、金属を型に流し込む鑄造を体験する「鑄造でキーホルダーを作ってみよう!!」や飲み水を作る過程を体験する「水って、たいせつ!」の3つの授業が、5日は化学繊維を実際に作る「ナイロンを作ってみよう!!」、「LL教室を使った英語の授業」、「光で学ぶ電気」の3つの授業が行われました。

当日は、市内外から女子中学生が延べ60名参加し、実験、実習を中心とした授業を体験しました。

全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）に参加して

コミュニケーション情報学科3年 折笠 崇光・村上 健

今年の第9回エコノミクス甲子園（全国金融・経済知力クイズ選手権）全国大会は東京都渋谷区代々木国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、コミュニケーション情報学科3年（参加当時）村上健、折笠崇光の2人からなるチーム「モスコミュール」が参加しました。福島高専が全国大会に参加するのは今回が初めてでした。エコノミクス甲子園とは、金融・経済についての知識の普及を目的に、金融知力普及委員会が実施する、クイズ大会です。エコノミクス甲子園には地方大会・全国大会があり、今回は無事地方予選（福島大会）を勝ち抜いての全国大会出場となりました。実は、去年行われた第8回エコノミクス甲子園福島大会にも参加していたのですが、予選敗退という結果に終わっていました。なので、今回こそは!という気持ちで地方予選に臨み、無事良い結果を残すことができました。

全国大会では、どこのチームも地方予選を1位通過してきただけあり、仲間になると心強く、敵にすると手ごわいチームばかりでした。今回、全国大会では予選ラウンド敗退という結果になってしまいました。しかし、福島県大会を突破して全国大会に出場し、日本の中でもトップレベルの金融知力を持った全国の学生たちと3日間ともに競い合い・協力できたことは非常に貴重な体験となりました。



廃止措置人材育成高専等連携協議会設立総会及び 廃止措置シンポジウムを開催



平成27年3月17日に、いわき市生涯学習プラザにおいて、廃止措置人材育成高専等連携協議会（以下、協議会）設立総会及び廃止措置シンポジウムを開催しました。これは、文部科学省が、東京電力株式会社福島第一原子力発電所1～4号機の廃止措置等に向けた中長期的視点での基盤研究や人材育成を目的として公募した事業である「国家課題対応型研究開発推進事業（廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費）」に本校がフィージビリティスタディーとして採択されたことを受け、協議会を発足する運びとなり、開催したものです。

この協議会は、本校を事務局として、全国25の高専や原子力関連企業の専門家等で構成されるもので、設立総会では、本校中村隆行校長の会長就任や平成27年度業務計画等を議決しました。続いて、同日午後から開催されたシンポジウムには、全国高専、企業等から約90名の参加があり、廃炉技術に関する研究発表や有意義な討論等がなされました。本校では、この協議会との連携の下、全国高専生を対象に廃止措置学修プログラムを実施し、高度な実践的教育に基づき継続的な人材育成に取り組んでいます。



退職者ご挨拶



全力で駆け抜けた37年＋1ヶ月 根岸 嘉和

「真面目な学習、規律ある生活態度、洗練された言動、人間性豊かなエンジニア」は、37年前、「どこの馬の骨か分からない失業者」の身ながら福島高専土木工学科助手に任用頂いた時、教室に掲げられていた額『校風樹立の要点』である。以来、このような学生を育て、恩返しすることを自分の目標として、教育・学生指導・研究・地域貢献・学校運営の5面体の校務を、全力で務めてきた。

強く心に残る仕事として次のようなことが挙げられる。学生主事6年間では、東北地区高専体育連盟競技運営専門委員長を務め女子競技を正式種目化できたことや、学生の生活指導の徹底を図った後に、携帯電話持ち込み許可・普通自動車通学許可・ブレザー型制服制定等々の自由度拡大が図れたこと。学科長2年間では、建設系・環境系のコース制で環境教育強化を図れたこと。教務主事4年間では、環境・経営・PBL教育の拡大・深化や、再試験制度の拡幅、仮進級制度の導入が実施できたこと。専攻科長2年間では社会人入試制度の敷設と企業訪問募集が展開できたこと。企画担当副校長2年間では、学校紹介DVD制作、東日本大震災報告書編集が務められたこと。

時代が移り、高専を取り巻く状況も本校自体も変貌をとげ、更に大きく変わろうとしている今、自分が望ましく・育成すべきと考える福島高専生像は、37年前と殆ど同じ「規律ある生活態度、真面目な学習、洗練された言動、人間力豊かな世界人」である。

最後に、学校の主役である学生諸君の大きな飛躍を期待するとともに、37年間の各種校務の遂行に際し、ご指導、ご支援、ご協力頂きました多くの教員、職員、学生、保護者の皆様方に心より厚く御礼申し上げます。



専攻科の改組について

平成27年4月から、専攻科の各専門性が深く学習でき、かつ、各専攻が融合した教育、研究を実現すること。また、我が国の復興にとって必要な再生可能エネルギー分野、原子力安全分野、減災工学分野で活躍できる人材の育成を目的として、新たに2専攻（5コース）に専攻科を改組しました。

特 徴

- 工学系専攻の特別研究で広い専門分野の教員の指導を受けることができ、かつ、ED（エンジニアリングデザイン）科目が全コース・全専攻に共通に行われることにより、幅広い専門性を身につけながら、高度な専門知識を持つ人材を育成します。
- 各コースに応じた復興人材育成関連科目が無理なく習得できるカリキュラムとなっており、コース別に高度な専門知識を持つ他、災害復興分野の幅広い知識を併せ持つ人材を育成します。（復興人材育成特別プログラム修了者には、「復興人材育成特別プログラム修了証明書」を発行します。）

コース紹介

産業技術システム工学専攻

本科の機械工学科、電気工学科、物質工学科、建設環境工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深め、また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成します。本専攻は次の4つのコースから構成されています。

▶生産・情報システム工学コース

機械系・電気系の材料工学分野並びに機械加工系、電子・情報工学系を融合した教育・研究を行います。機械設計関連、システム制御関連、電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び生産・情報分野で活躍できる人材を育成します。

▶エネルギーシステム工学コース

機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行います。エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び、機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成します。

▶化学・バイオ工学コース

応用化学分野・生命工学分野およびそれらの関連分野の教育・研究を行います。物質工学科専門分野の基礎学力をさらに充実させたいうで、その専門性を高めます。さらに、現代の応用化学分野・生命工学分野およびそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材の養成をめざします。

▶社会環境システム工学コース

建設・環境系の教育・研究を行います。土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し、さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深めます。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ、環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材の養成をめざします。

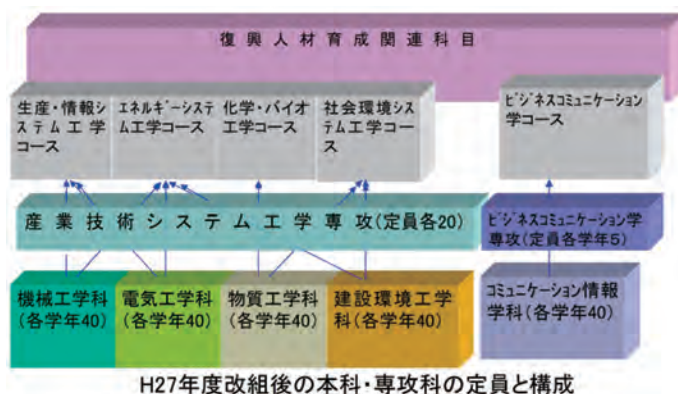
ビジネスコミュニケーション学専攻

コミュニケーション情報学科の専門的な基礎学力を充実させ、その応用性や専門性を深めます。また復興人材育成特別プログラムにより地域復興において活躍できる人材を育成します。本専攻は次の1つのコースから成っています。

▶ビジネスコミュニケーション学コース

コミュニケーション情報学科で習得した社会学系知識の応用力を育み、専門性を深めるビジネス系科目を履修します。さらに工学系－ビジネス系シナジー効果の期待できる科目を履修することにより、工学的な基礎知識を獲得し、工学的な思考スキルと国際社会に対応したビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ、地域に根ざしたグローバルな視点を有する人材の育成を目指します。

専攻科改組の概要図▶



高等学校等就学支援金

高等学校等就学支援金制度とは、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

国立高等専門学校（第1学年～第3学年）も就学支援金制度の対象となっており、月額9,900円（年額118,800円）の就学支援金が支給されますが、平成26年4月の入学者からは所得制限を設けた新制度が実施されております。

支給期間は原則として通算36月となっております。また、保護者の所得に応じて一定額が加算される加算支給制度もあります。

なお、就学支援金は市町村民税所得割額を基準に支給されるため、保護者等の失職、倒産等家計急変したときにすぐ反映されない場合があります。その場合、就学支援金制度とは別に、「家計急変支援金制度」の対象となる場合がありますので、詳しくは学生課学生支援係にお問い合わせ下さい。

授業料免除制度

授業料の免除は、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合に、前期・後期ごとに本人の申請（前期の授業料の免除申請の際に併せて、後期の申請も可能です。）に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度です。選考は免除選考基準により、家計・学力・人物について学生委員会で審議します。

経済的理由による授業料免除の対象となるのは、4年生・5年生・専攻科生となります。

3年生以下につきましては、左記の高等学校等就学支援金制度が適用されるため、経済的理由による授業料免除の対象とはなりません（平成26年度は、東日本大震災により被災した学生を対象とした特別措置の授業料免除については、3年生以下も対象となりました。）。

経済的理由による授業料免除の申請時期は、前期分は3月下旬、後期分は9月中旬となっておりますが、事前の説明会で免除申請用紙を配付し、併せて申込み締切り日についてお知らせします。なお、説明会の日程については、掲示・放送および学級担任・専攻長からお知らせします。

奨学制度・授業料免除制度・高等学校等就学支援金についてのお問い合わせは 学生課学生支援係まで TEL 0246-46-0734

平成27年度 行事予定（4月～9月）

4月

- 1日（水）開寮（13:00）
- 2日（木）入学式（本科・専攻科・編入学生）
新入寮生歓迎夕食会
- 3日（金）始業式
新入生オリエンテーション
専攻科ガイダンス
交通安全教室（1年）
- 6日（月）前期授業開始
- 15日（水）全校・校外清掃日
- 16日（木）金曜振替授業
- 17日（金）定期健康診断（臨時休講）
- 22日（水）基礎学力標準試験（化学）
（工学系4学科の3年生対象）
- 25日（土）新入寮生歓迎行事
- 27日（月）開校記念日
- 29日（水）公開授業
学生総会

5月

- 11日（月）～15日（金）
専攻科推薦入試・社会人入試願書受付
- 13日（水）後援会総会・学級懇談会・寮保護者会
- 22日（金）～6月4日（木）
前期中間試験期間
- 23日（土）専攻科推薦入試・社会人入試
- 27日（水）共通科目試験日

6月

- 4日（木）共通科目試験日
- 8日（月）～12日（金）
専攻科学力入試願書受付
- 17日（水）学級委員長との懇談会
- 20日（土）専攻科学力入試
- 24日（水）学生会AED講習会

7月

- 3日（金）学生臨時休業
- 3日（金）～5日（日）
東北地区高専体育大会（一関・仙台名取）
- 6日（月）学生臨時休業
- 7日（火）月曜授業振替
- 8日（水）交通安全教室（3年）
- 15日（水）～17日（金）
編入学（推薦）願書受付
- 15日（水）消費生活安全教室（5年）
- 25日（土）編入学試験（推薦）
- 24日（金）～30日（木）
前期期末試験
- 30日（木）インターンシップ事前指導会（4年）
- 31日（金）補講日、1日体験入学準備日

8月

- 1日（土）～2日（日）
1日体験入学
- 3日（月）～5日（水）
編入学（学力）願書受付
- 5日（水）集会、教室整備
- 8日（土）寮大掃除
- 8日（土）～9月27日（日）
夏季休業
- 9日（日）閉寮（10:00）
- 10日（月）～14日（金）
学校閉鎖

9月

- 8日（火）編入学試験（学力）
- 27日（日）開寮（13:00）
- 28日（月）ミニ研究準備・発表会
- 29日（火）集会、寮防災訓練、専攻科集会
- 30日（水）校内体育大会

編集後記

広報委員会担当の二年間、本誌モデルチェンジのアイデアを模索してきましたが、歴代広報委員会のご努力で、充実した完成品が出来上がっていたため、改訂事項はごくわずか「学校の動向を示すトピックスを多く」、「学生の活動報告を自身の執筆で」等の試みを行った程度に留まっている。斬新なモデルチェンジを次年度以降の広報委員会に委ねつつ、学校だよりの更なる進化を期待いたします。 広報委員長 根岸嘉和